

「博物館が連携するということ」

～岐阜県博物館協会の事例～

20230705/文部科学省講堂
令和5年度全国博物館長会議「博物館連携」

(岐阜県博物館協会企画委員長)
美濃加茂市民ミュージアム
可児光生

今回の法改正の条文から

第3条 (博物館の事業) (改正により新設)

(中略)

2 博物館は、前項各号に掲げる事業の充実を図るため、他の博物館、第三十一条第二項に規定する指定施設その他これらに類する施設との間において、資料の相互貸借、職員の交流、刊行物及び情報の交換その他の活動を通じ、相互に連携を図りながら協力するよう努めるものとする。

⇒他の博物館との連携協力

「・・・全国の博物館が、時代の要請や環境の変化に取り残されることなく発展していくためには、博物館が互いのノウハウやリソースを共有し合うネットワークを形成することで、小規模な館でも効率的・効果的に新たな課題に対応することができる環境を作っていくことが求められます。

新しい制度では、登録博物館が互いの連携や指定施設との連携に努めるものと定めることで、こうしたネットワークづくりを促進します。」

文化庁《博物館総合サイト「博物館連携」の項より》

これまでも・・・

「つながる未来へ」シンポジウム

20190218、京都歴彩館

・「しまねミュージアム協議会」「今治のミュージアムネットワーク」「京都府ミュージアムフォーラム」「小規模ミュージアムネットワーク」(小さいとこネット)「岐阜県博物館協会」の事例報告

小さいとこネットの活動紹介(高田みちよ)

20201105、文化庁文化審議会第2期博物館部会

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/hakubutsukan/hakubutsukan01/04/pdf/92637801_03.pdf

さまざまなネットワーク

「博物館に関係する団体と活動」(坂本昇)

『47都道府県博物館百科』(2022年、丸善出版)

館種別ネットワークの他、地域ごとの博物館ネットワークなどを紹介

Summit Conference for The Small Museum Association
小規模ミュージアムのつどい

のぞいてみよう！いろいろなこのネットワーク
10年のつながりをもっと広げる

オーソンシンポジウム

第10回
小さいとこ
サミット
in 京都

つながる未来へ

日時 平成 31(2019)年 2月 18日(月) 13:00-15:30

定員 200名(当日受付) 対象 小さいとこネット会員、博物館等施設関係者、
大手非営利機関、その他関心のある方

会場 京都府立京都学・歴彩館 大ホール
〒600-0002 京都府立京都学・歴彩館 1-29 TEL: 075-723-4831
京都府宮下駅【鳥丸駅】北山駅(005) (1番出口)南へ徒歩約4分

参加費 無料

各地域にはそれぞれの特色を活かしたミュージアムネットワークが存在し、
魅力的な活動を進めています。単館では解決できない問題も、寄り添えば
解決できる。力を合わせれば新しいムーブメントも起こすことができる。
これからのミュージアムに求められるのは、「つながる」ことで生み出され
る力かも知れません。本サミットでは、各地のミュージアムネットワーク
の活動や特徴、その想いを寄せあいます。

基調講演

しまねミュージアム協議会について
古川 寛子氏
(モニュメント・ミュージアム実行ストーン 学芸員)

小規模地域ミュージアムの連携等について
半田 昌之氏
(日本博物館協会 寺務理事)

京都府ミュージアムフォーラムについて
平井 俊行氏
(京都学・歴彩館 副館長)

岐阜県博物館協会「地域スロック部会」のこと
可児 光生氏
(美濃加茂市民ミュージアム 館長)

四国・愛媛・今治のミュージアムネットワーク
田中 謙氏
(今治市村上水軍博物館 学芸員)

主催：小規模ミュージアムネットワーク(小さいとこネット)、京都府ミュージアムフォーラム
共催：ICOM 京都大会 2019 組織委員会
後援：京都府、公益財団法人日本博物館協会、全日本博物館学会、日本ミュージアム・マネジメント学会、
日本歴史学会、特定非営利活動法人西日本自然史系博物館ネットワーク
お問い合わせ：小さいとこネットワーク事務局(高槻市立自然博物館あくびあけ川：高田)
TEL 072-692-5041 (FAX 7854) E-mail info@acupia.net

今回のテーマ

「博物館が連携するということ」

- ・岐阜県内における博物館連携「岐阜県博物館協会」の組織、活動実態、課題・・・
- ・連携している意味あい、今感じていること、今後のことなど・・・

岐阜県博物館協会にも小さい館がいっぱい

○1966年(昭和41)創立 民間館の熱意

○現在の加盟館 126館

(法人1、県立9、市町村立50、私立52、+個人会員14名)

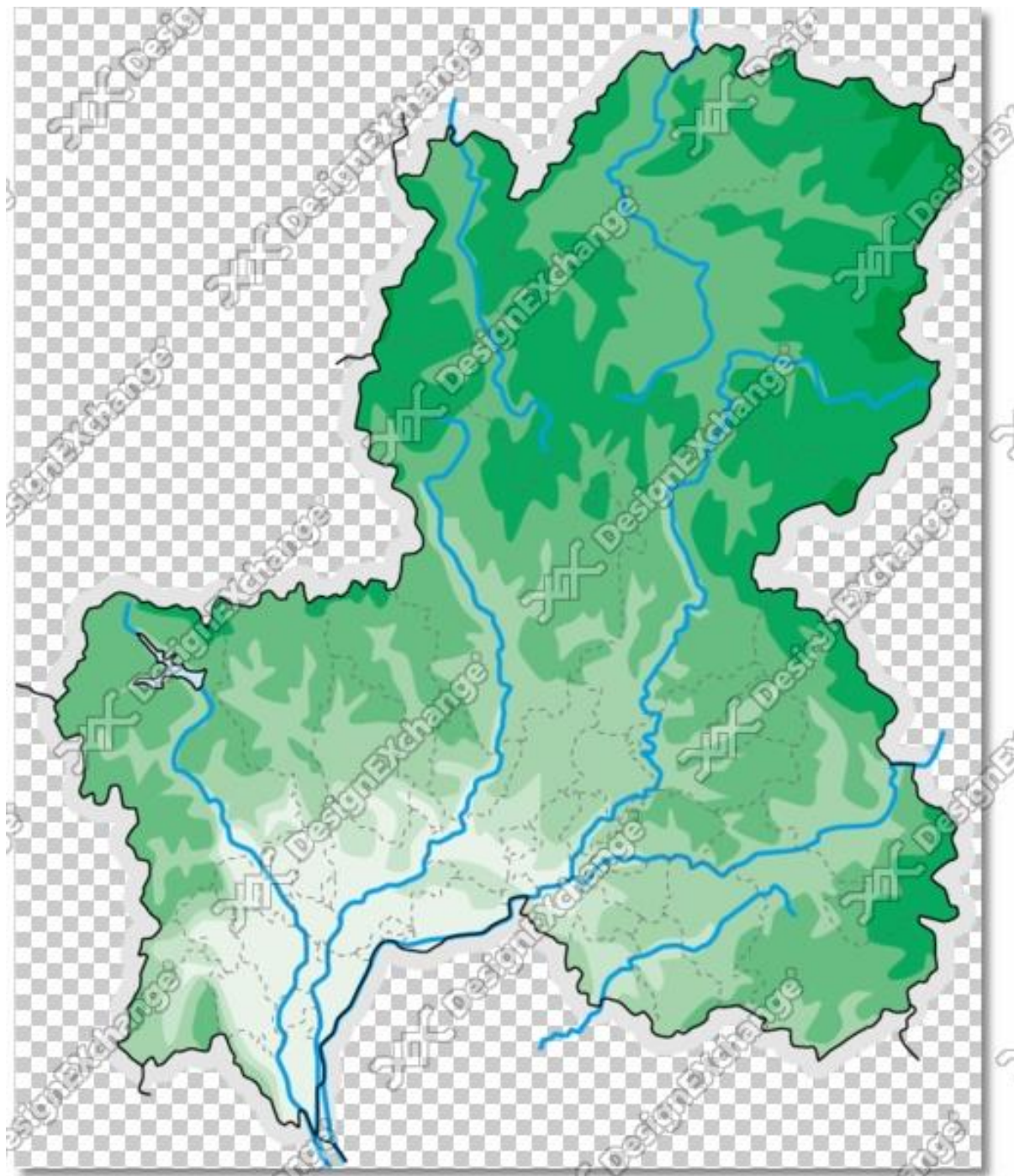
*事務局:岐阜県博物館総務部内

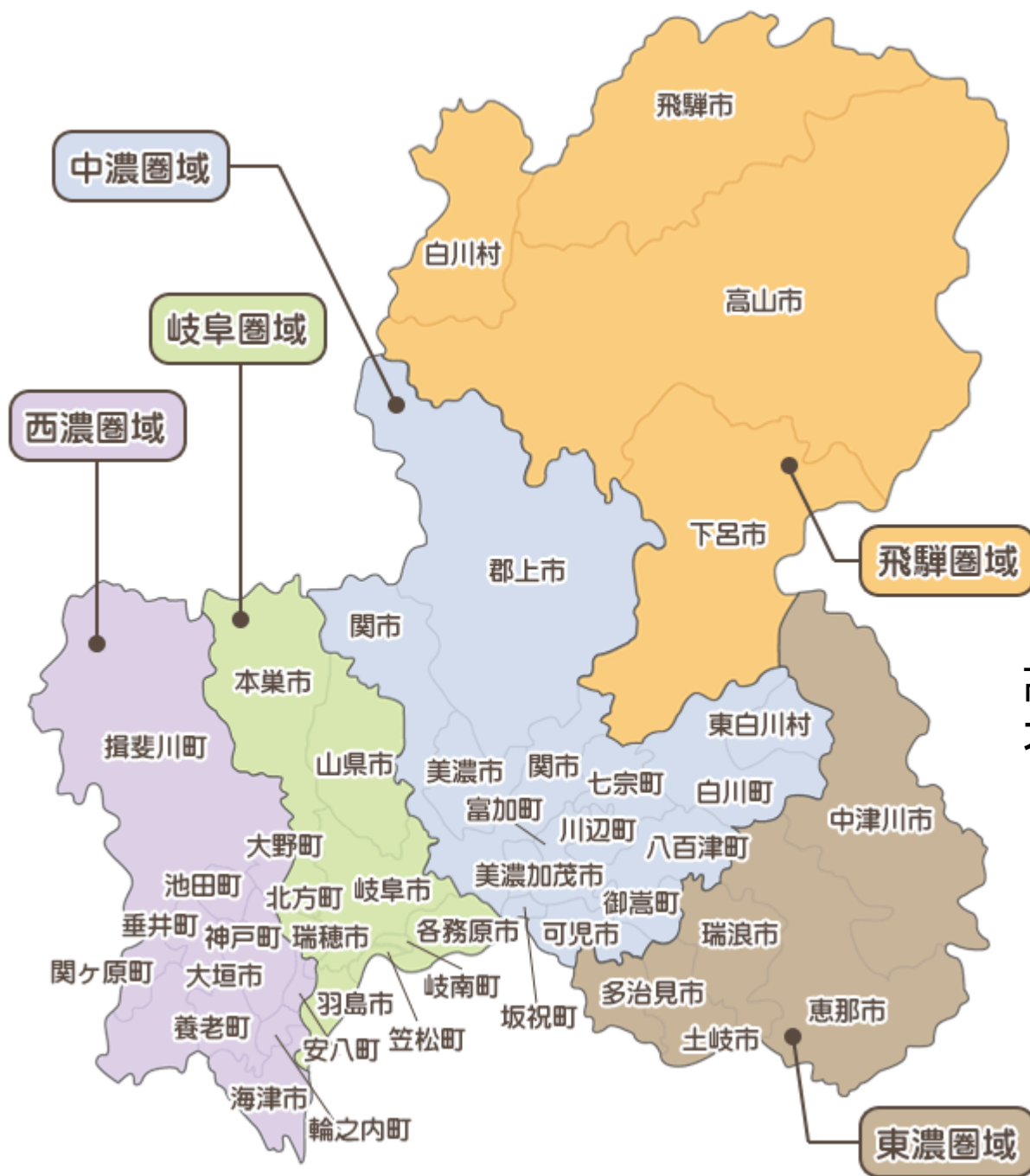
少し変わっ
ている

岐阜県
美濃国 + 飛騨国

「飛山濃水」
南部と北部
で違う風土

日本の
人口重心





高山市 2,178m²
大阪府 1,901m²

2014年度まで組織

「機関紙HP委員会」「研修研究委員会」「公開講座委員会」「地域活性化委員会」＋理事会

しかしあまり機能していなかったことは事実、事務局任せ・・・



50周年事業(2016年度)にあわせて 2015年度から

＋「のこす部会」「ひろめる部会」「たかめる部会」
に模様替え、**加盟館の自主的活動**をめざす

- ・連携企画「街道・ネットワーク」
- ・ロゴマークの作成
- ・ミュージアムスタンプラリー
- ・ミュージアムレスキューの研究

創立50周年に合わせてアンケートを実施
(2015年10月実施、72館から回答)

○延床面積1000m²未満 40.4%

○学芸系職員 平均1.8名(常勤＋非常勤)

[課題]

○「施設・建物が老朽化している」 61.1%

○「財政的に恵まれていない」 41.7%

○「資料保存が難しい」 40.3%

○「職員の数不足している」 37.5%

アンケート中の自由意見

- 「個々の活性化のために横のつながりを生かす」
- 「地区単位で事業実施できるようにできないか」
- 「多くの加盟館が集合できる場所を各地で設定し定期的に集まれないか」
- 「それぞれの館を知ることから始める」
- 「ブロックごとでテーマ性を持った活動や情報交換」
- 「理事会と実働役員の接点がほとんどない」
- 「文化財レスキューの構築は社会的役割」
- 「外部機関や団体とのつながりをもっと」
- 「さまざまなネットワークが必要」 などなど・・・



「街道」をテーマに加盟館が多彩なプログラム
 (『展示学』№54、2017)



記念誌 103ページ、
 アンケート結果等も収録



スタンプラリー

事務局任せでなく、みんなでやった！

岐阜県 50周年 博物館協会 Gifu Museum Association
岐阜県博物館協会創立50周年記念

岐阜県博物館協会創立50周年記念事業中心概要
岐阜県博物館協会
岐阜県博物館協会



新組織の発足(2017年度)

企画委員会の新設(各部会をまとめ調整)

メンバーは原則加盟館から自主参加

「のこす部会」「たかめる部会」「ひろめる部会」を改組して

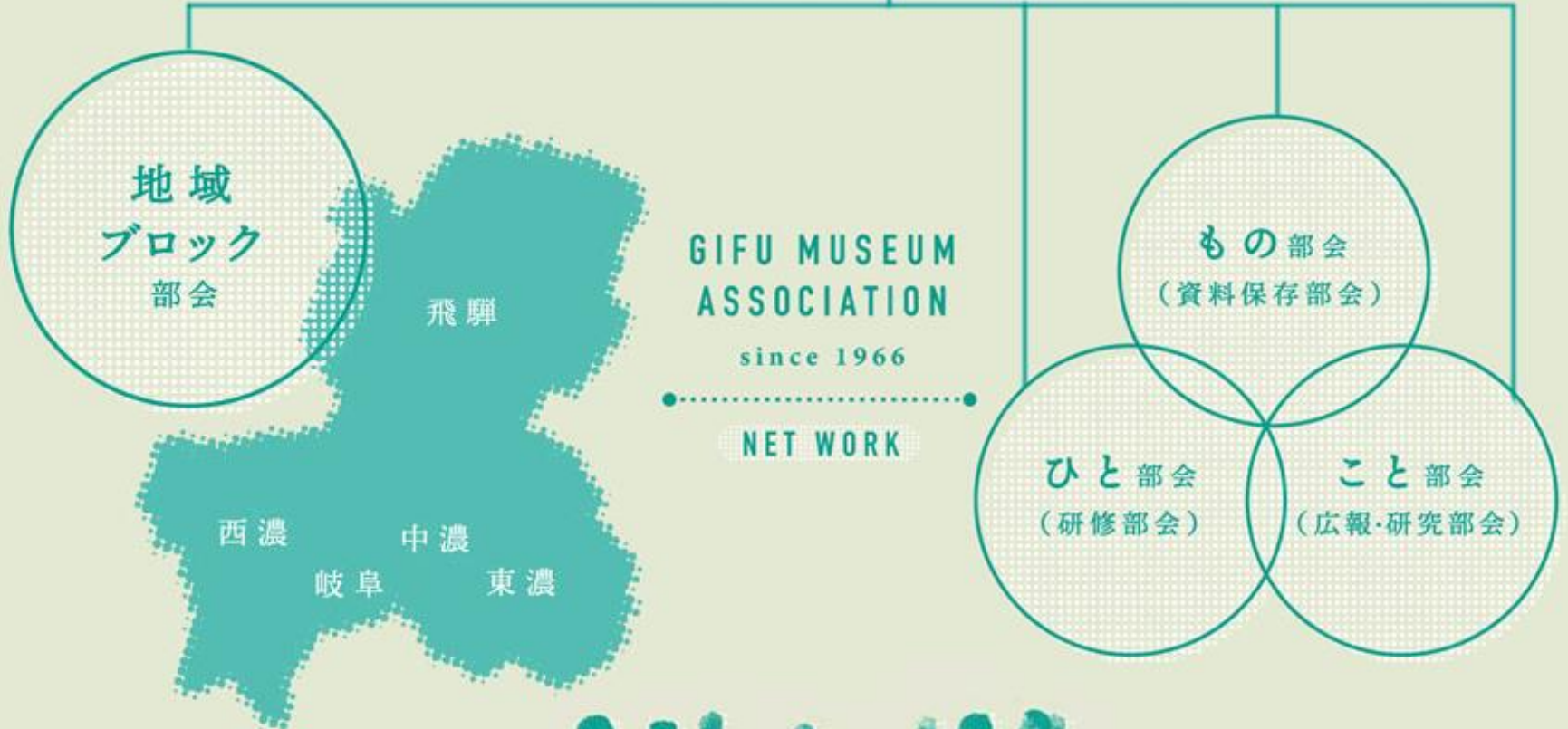
- 「**もの部会**」(資料保存)
- 「**ひと部会**」(研修)
- 「**こと部会**」(広報・研究)
- **地域ブロック部会**

(岐阜・西濃・中濃・東濃・飛騨)

理事会

...

企画委員会





岐阜県 博物館協会

Gifu Museum Association

ロゴ入り幟



ロゴコンセプト

○全体のトーン＝楽しさ、若さ、親しみ感

○ポイント部分＝発想、ひらめき、
発信、伝達、革新

○キーカラー＝岐阜の山、川のミックスブルー（特色：DIC-217）

デザイン：グラフィックデザイナー
森美佳 (zoomic)。



2023年度 協会予算 2,421千円

◇収入・・・会費、企業等助成金など

◇支出・・・うち 地域ブロック活動費 510 (*)

資料保存研究 100

研修 100

広報・研究 450

県民文化講演会 370

60周年事業積立 100 など

(*) 地域ブロック活動費 90×5地区

+他ブロックとの連携 60 (23年度からの新設)

専門部会の活動

①「もの部会」

- ・施設の展示収蔵環境、資料管理の調査研究
- ・ミュージアムレスキュー体制を整え、災害発生時には被災状況を報告。その後の情報共有
- ・「岐阜県博物館協会ミュージアムレスキュー活動要綱」制定（2016年度）
- ・災害時の資料保存のための必要資材（洗浄用刷毛、保管用コンテナ、薄葉紙など）をブロックごとに配布。保存用冷凍庫（233L）も2ブロックに配備
- ・平時には、加盟館の収集・収蔵の課題を持ち寄り、解決に向けた研究・協力（2022年度本巢市）・・・→

専門部会の活動

②「ひと部会」

- ・会員向けの**実践的な研修会**を企画

(作品取り扱い、作品梱包、資料の活用、学校との連携、著作権、ミュージアムグッズなど多彩)

- ・他の専門部会や地域ブロック、加盟館との共催で研修会を開催

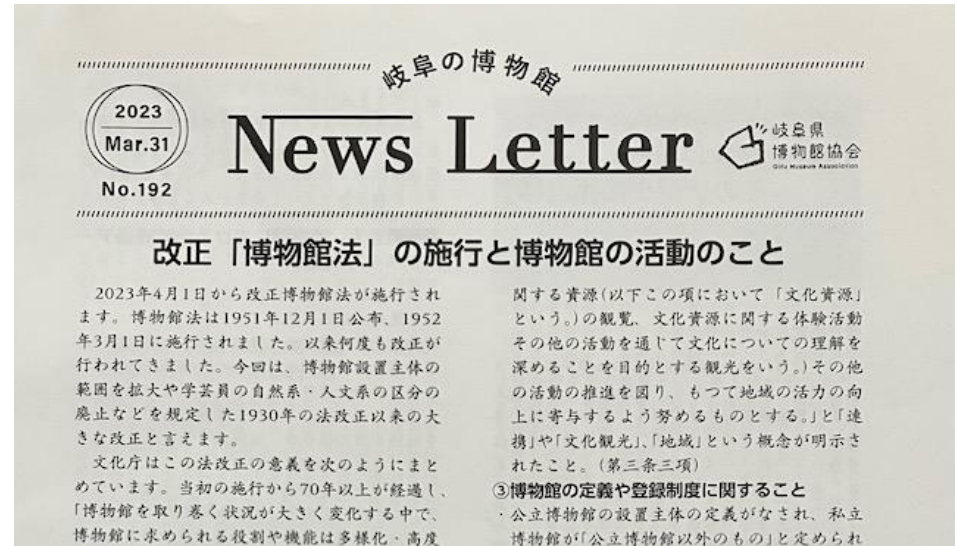
・協会の先達へのインタビューを実施。協会の原点を現在の加盟館が再認識する場に(2022年度～)



専門部会の活動

③「こと部会」

- ・年2回の機関紙
「News Letter(岐阜の博物館)」(これまでに192号)
を発行



- ・HPを通して加盟館情報、協会の活動情報と結果を共有
- ・会員が関わった展覧会や事業、**研究の成果**を紙面に投稿(特に小規模館)
- ・日本博物館育ての親で岐阜県北方町出身**棚橋源太郎**(1869~1961)の調査研究、生誕地での顕彰活動との連携

地域ブロック部会の活動

地域に根ざした活動を独自に行うことを目的とする。公開講座など一般向けの事業も行い、博物館から地域へ発信する場とし、博物館への理解を深めてもらう。他の地域ブロックや専門部会との情報交換、連携事業も行う。

- ・博物館や地域の文化資源に触れる「公開講座」
- ・加盟館相互の見学会（一般参加あり）や情報交換会
などなど

- * 部会員は自主参加、協会個人会員も参加する。
- * ブロックごとに世話人2名程度選ぶ。
- * 独立会計とし、年間事業費（例年@10万円×5地区）を協会が交付する。

地域ブロック部会の活動 さらに

* 2023年度から地域ブロック部会の連携強化支援

@10万円 × 5地区 = 500, 000



@ 9万円 × 5地区 + @3万円 × 2事例 = 510, 000

・複数の地域ブロックが連携して行う展示や催事に対して別枠で活動費を交付

・今回の法改正の「連携」を意識し、**ブロック間相互の連携**を強める。活動費交付要綱も改正

・牧野富太郎にからむ展示や催事の共同開催、協会HPで広く紹介する動きが出始めている…。

企画委員会の活動

- ・総会時に専門部会、ブロック部会の活動や研究成果を発表する会員研修会を開催
- ・直面するテーマを設定し、総会時に研修会
 - ・「博物館資源のデジタル化とオープン化」(2022年度)
 - ・「新博物館法から考える博物館ネットワーク」(2023年度)
- ・東海三県博物館協会研究交流会 (2022年12月)
「博物館資源のデジタルデータベース化の現状と今後」
- ・学習会の開催
「地域の博物館がいきいきとしていくために」
(文化庁ミュージアムエデュケーション研修をとおして)

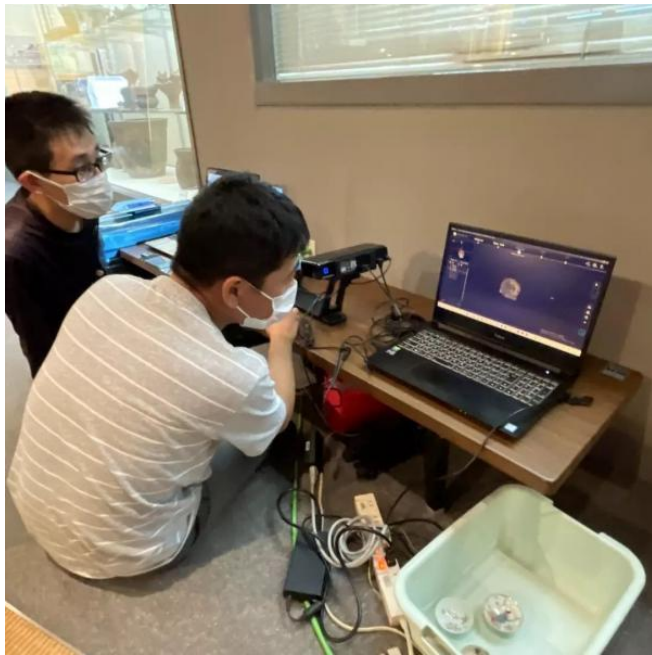
(2020年3月)

具体的な活動状況



中濃ブロック見学会
/20171205/郡上市歴
史資料館 開館直前
の見学

まずは他館の
見学会から…



飛騨ブロック研修会
/20220730/飛騨みや
がわ考古民俗館「石棒
3D合宿」

東濃ブロック研
修会
/20230118/「日
本画の取り扱いを学ぶ」

岐阜ブロック公開講座
/20181110/岐阜市まち
なかブラあるき



地域をあるく。再
発見いっぱい。

岐阜ブロック公開講座
/20181211/内藤くすり博物館



ダム展

木曾川・飛騨川



2018.7.14土 >>> 8.26日

美濃加茂市民ミュージアム 企画展示室

休館日 7/17・7/23・7/30・8/6・8/13・8/20

開館時間 9:00-17:00 | 観覧無料 |


みのかも文化の森
美濃加茂市民ミュージアム
MINOKAWA CITY MUSEUM

地域ブロックで共有している地域資源
「ダム」をテーマ


共通の地域
資源で連携



中濃ブロック公開講座/20180802/ダム展に
関する発電所見学/八百津町


 岐阜県博物館協会
 Gifu Museum Association

岐阜県博物館協会
 第95回会員研修会


 小さいからできること、
 小さいから悩むこと、
 みんなで考えよう！

小規模館の強み

2018年10月30日(火)


岐阜県博物館協会の会員館の中には、小さな規模の博物館・美術館がいくつもあります。小規模館ならではの強みもあるかもしれませんが、逆に小さな館にしかできないこと、小さいからこそできることがあります。例えば、地域性を振り下げた展示ができる、自由なテーマで独自の活動ができる、地域の人々と深く関わるといったことや、その外にもさまざまな利点を挙げることができるでしょう。今回の研修会では、そんな小規模館の強みなどについて考えます。他県の事例なども織り交ぜつつ、お互いの館を紹介し合いながら、それぞれの館が自分の館の持っている力を見つめ直すような時間になれば幸いです。小さな館は勿論のこと、そうではない館にとっても、運営の参考になるようなことを見つけれればと思います。

研修会の後は、下呂市にある小規模館として、下呂ふるさと歴史記念館と下呂発温泉博物館の見学会を行います。さわやかな秋の飛騨へと、ぜひ足をお運び下さい。

【第一部】研修会
 時間：13:00～14:30(12:30～受付)
 会場：下呂ふるさと歴史記念館体験室(定員20名)
 下呂市森 1808-37 / TEL0576-25-4174
 コーディネーター：可児 光生(美濃加茂市民ミュージアム館長)

【第二部】見学会
 14:30～ 下呂ふるさと歴史記念館
 *温泉博物館への移動は各自をお願いします。(無料駐車スペースあり)
 15:30～ 下呂発温泉博物館(下呂市湯之島 543-2) 16:30終了予定


申込方法 事前申込：10/23(火)までにFAXかメールで下記まで。
 件名に「第95回ひと部会講演会」、氏名、所属館名、電話番号を明記してください。
 問い合わせ・申込 岐阜県博物館協会 ひと部会 事務局
 美濃加茂市民ミュージアム 担当：和歌由花
 (yuka.waka@city.minokamo.lg.jp)
 美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-1
 TEL 0574-28-1110 FAX 0574-28-1104



本事業に、ご支援いただいている
 企業・団体

公益財団法人
 田口福寿会

OKB 大垣共立銀行


 十六銀行



「小回りがきく」
 「決定が早い」
 「市民や利用者
 との関係が濃厚」
 「活動がユニーク」…

ひと部会研修会/20181030/下呂市/「小規模館の強み」

第94回会員研修会 ミュージアムグッズで考える
岐阜県博物館協会

2018年3月9日(金) 14:00~16:00

美濃加茂市民ミュージアム 研修室(定員42名)

共催:岐阜県博物館協会 ひと部会
日本ミュージアム・マネージメント学会

近年、全国のミュージアムショップでは館のテーマやコンセプト、収蔵品の魅力やミュージアムの楽しさを伝える、個性豊かなミュージアムグッズが開発・販売されています。「ミュージアムを自分化するための博物館・美術館ジャーナル」をコンセプトにした博物館の情報誌『ミュゼ』では、それぞれの館の創意工夫に満ちた全国の愛すべきミュージアムグッズを紹介し続けています。今回の会員研修では『ミュゼ』編集長の山下治子氏をお招きして、ミュージアムと人とのコミュニケーションも生み出す魅力的なミュージアムグッズについてお話しいたします。

そして、後半では岐阜県博物館協会加盟館で制作・販売しているオリジナルグッズを持ち寄って、事例の報告や意見の交流を行います。そして、岐阜県の博物館により親んでもらえるようなグッズの開発、制作の方法、販売の仕方等について考えます。オリジナルのミュージアムグッズがある会員館の皆様は是非、会場へグッズをお持ちください。

【会場住所】

〒505-0004
岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋3299-1
美濃加茂市民ミュージアム



講師：山下治子氏 『ミュゼ』編集長

申込方法

事前申し込み:Faxかメールで下記まで。件名に「ひと部会講演会」、氏名、所属館名、電話番号を明記してください。

問い合わせ・申し込み 岐阜県博物館協会 ひと部会 事務局
美濃加茂市民ミュージアム 担当:和歌由花 museum@forest.minokamo.gifu.jp
岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋3299-1 TEL:0574-28-1110 FAX:0574-28-1104

協賛 公財財団法人 田口福寿会 十六銀行 OKB 大垣共立銀行

総務系スタッフ
も参加、楽しい
ミュージアムに



ひと部会 研修会/20180309/
「ミュージアムグッズを考える/
美濃加茂市民ミュージアム

外部への働きかけ という観点

中濃ブロック公
開講座
/20180126/「回
想法・失われゆ
くモノから地域
のコミュニティを考
える」/美濃加
茂市民ミュージ
アム

福祉関係者の
参加も多く...



みのかも文化の森講座「回想法」を学ぶ(第2回) / 岐阜県博物館協会中濃ブロック部会公開講座

失われゆくモノから地域のコミュニティを考える
博物館や家にあるモノを回想しながら、人々とのつながりを考えていく
取り組みをお話いただきます。



みのかも文化の森では、年中行事や「ていねいな暮らし講座」などの体験とおし、回想法的手法によって、人々が記憶をよみがえらせ、少し幸せな気持ちになれる取り組みを進めています。
この春には、「みのかも想ひ出すごらく」を制作し、市内関係施設に配布し活用されています。高齢者の記憶の中にある「暮らしの思い出」が語り継がれていくことは、地域にとっても大きな宝物となります。地域回想法と博物館のこれからの役割を考えます。

2018. 1.26 金 13:30 ~ 15:00
みのかも文化の森「研修室」

講師 九州保健福祉大学准教授 山内利秋氏

参加 参加無料 当日受付

参加無料
当日受付

みのかも文化の森
美濃加茂市民ミュージアム
MINOKAMO CITY MUSEUM

〒505-0004
岐阜県美濃加茂市蜂屋町上峰屋 3299-1
TEL.0574-28-1110 FAX.0574-28-1104
http://www.forest.minokamo.gifu.jp/

※本講座は田口福寿会、十六銀行、大垣共立銀行のご支援により開催しております。

「博物館浴」その効果とこれからの考える 研修会

今年4月に改正された博物館法の議論の中で、「これからの博物館に求められる役割」の一つに「社会や地域の課題にむきあうこと」が示されました。さまざまな課題のなかでも、福祉や医療は特に重視されていることから、それに関して、これまでに博物館が高齢者福祉の現場と連携しながら地域回想法に取り組んだり、医療現場で美術作品の鑑賞を導入したりする事例も見受けられるようになってきました。カナダでは医師会と美術館が提携して、治療の一つとして美術館見学を処方箋として出しているところもあります。

人々のストレス軽減や活気を甦らせるために、ミュージアムの資料や作品の活用は一定の効果があると言われ、最近では「森林浴」のように「博物館浴」という言葉も生まれ、その手法に注目が集まり期待が寄せられています。

今回の研修会では、博物館、福祉・医療・健康に関わる多方面の方々を対象に、「博物館浴」の現状、および効果と測定などに関するお話と実験をおし、共通理解を深めて地域での連携のあり方や今後の方向性を考えていく場にしたいと考えます。

主催 みのかも文化の森・美濃加茂市民ミュージアム
岐阜県博物館協会（ひと部会＋中濃ブロック部会）

日時 2023（令和5）年1月24日（火） 13:30～16:00

会場 美濃加茂市民ミュージアム 緑のホール（岐阜県美濃加茂市蜂屋町上線屋 3299-1）
（TEL 0574-28-1110 <http://www.forest.minokamo.gifu.jp>）

- 13:00～13:30 受付
- 13:30～13:40 趣旨説明
- 13:40～14:55 講演「『博物館浴』研究の最前線」
講師：緒方 泉氏（九州産業大学地域共創学部教授）
- 14:55～15:10 質疑
- 15:10～15:20 休憩・準備
- 15:20～16:00 「博物館浴」の効果測定体験（20名）と見学

定員：80名（うち「博物館浴」の効果測定体験者20名） 参加料：無料

参加申し込み、お名前、所属先、メールアドレス、効果測定体験希望の有無を記して、直接、もしくは <https://logofarm.jp/form/XQZW/195723> へ、1月19日（木）までにお申込みください。

*効果測定は、鑑賞の前に、生理測定（脈拍、血圧測定）と心理測定を行い、鑑賞のあと、同測定を行ってその変化、効果を見るものです。希望される方は申込時にお知らせください。事前の測定は、講演の前に行いますので、お手数ですが12:40までに受付へお越しください。

緒方 泉（おがた いずみ）

1957年東京都生まれ。九州産業大学地域共創学部教授。1985年福岡県教育庁文化課に入り、福岡県立博物館学芸員などを歴任。2002年から九州産業大学美術館学芸員長、同大学美術館館長を経て2018年より現職。著書に『学芸員がミュージアムを変える！』『公共文化施設の地域力』（2021年）などがある。専門分野は博物館学、臨床心理学。

【お問い合わせ】

美濃加茂市民ミュージアム 可児光生/長谷川明子
〒505-0004 美濃加茂市蜂屋町上線屋 3299-1
TEL: 0574-28-1110 / FAX: 0574-28-1104
E-mail: mitsuo.kani@city.minokamo.lg.jp

協力 美濃加茂市健康課、美濃加茂市高齢福祉課
美濃加茂市社会福祉協議会

本事業にご賛助いただいている
企業・団体

公益財団法人
田口福寿会

OKB 大垣共立銀行 十六銀行



効果を「体感」。
これからの博物館の
社会的役割を考える。

ひと部会＋中濃ブロック研修会/20220124/美濃加茂市民ミュージアム/「博物館浴」その効果とこれからの考える」

<https://www.gifu-museum.jp/museum/wp-content/uploads/2022/12/%E3%83%81%E3%83%A9%E3%82%B7%E5%AE%8C%E6%88%90-1.pdf>

県民文化講演会/20180525/「体験！水濡れ書類の応急措置

岐阜県博物館協会 岐阜県民文化協会

わたくしが救う想いの記録

大切な歴史資料や家族の記録が被災してもみなさんによる迅速・適切な手当てがあれば、残るものがたくさんあります。

2018年 5月25日(金) 14:30-16:30

参加費 無料

講演会 (14:30-15:20)
歴史資料保存ワークショップによる新たな災害対応—水損史料保全活動の取組—

ワークショップ (15:30-16:30)
体験！水濡れ書類の応急処置
本会から呼びかけられた水災被害者支援隊のみなさんによる実践的なワークショップを行います。被災されたみなさんへ迅速な対応を促すため、被災されたみなさんの「資料の救命士」になりましょう。

◆お問い合せ・参加の申し込み先
岐阜県博物館協会
〒501-2941 岐阜県岐阜市穂島1999 岐阜県博物館内
TEL 0575-28-3111 FAX 0575-28-3110
ホームページ: <http://www.gfmuseum.jp/>

◆講演会・ワークショップ講師
松下 正和 特命准教授
神戸大学 地域連携推進室

◆会場
パートルスクエア-G 2階 大研修室
(JR岐阜駅南口 岐阜市樺本町1-10-23)

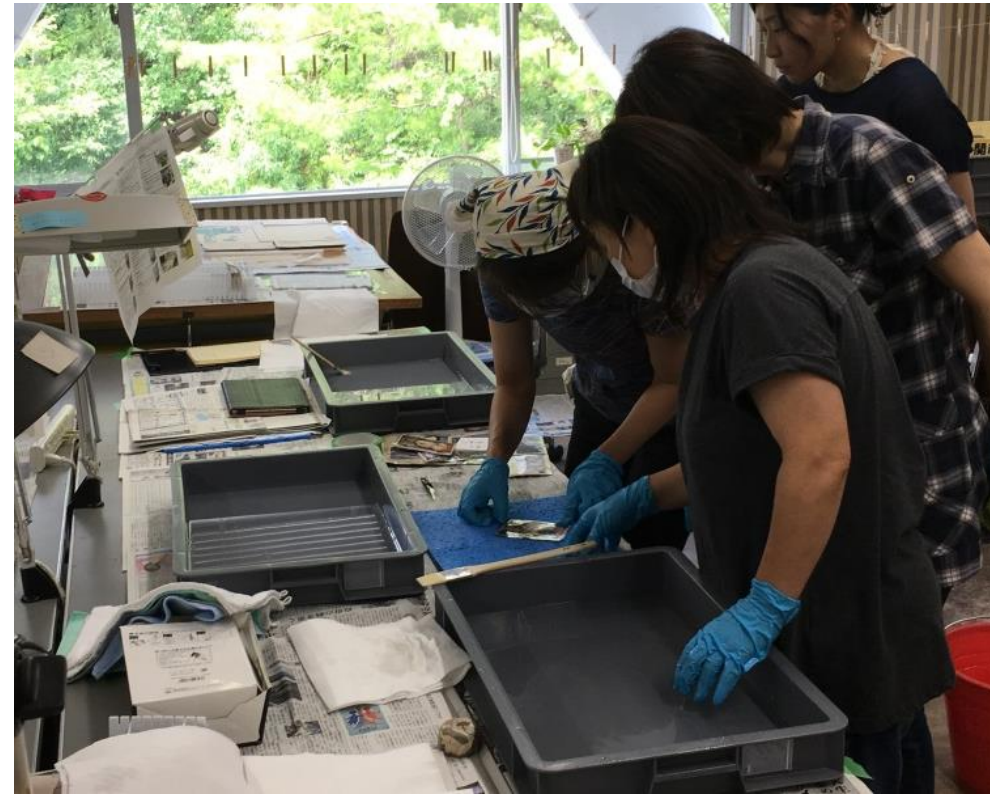
◆主催
岐阜県博物館協会

◆協賛
岐阜県民文化協会

◆協賛
岐阜県民文化協会



直後に研修が
現実に・・・



ものの部会

水害の被害を
うけた関市から
岐阜大学と
協会に要請

被災者の水損
アルバムのレ
スキュー活動/
201808

ものの部会 本巢市所蔵民俗資料移転

20221212ほか/本巢市真正民俗資料館

◇資料館移転にともない、収蔵資料の移動(一部処分も)の危機があり**協会に支援要請**

・担当者は非専門

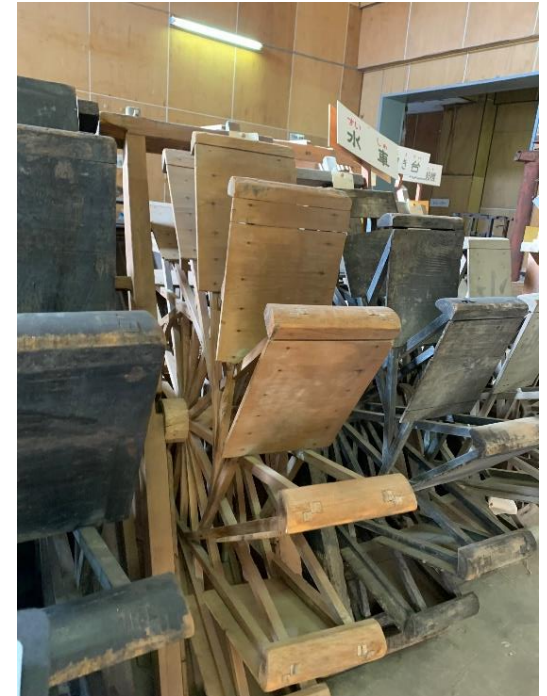
◇現地調査会の開催

- ・協会ものの部会を中心に12名が参加。
- ・収蔵と活用に関しての多くのコメント
- ・本巢市の関係者も同席
- ・博物館協会という組織がこれだけの関心を持っていることが市へ伝わる。

◇結果

- ・選別せずほとんどそのまま保存されることに
- ・ボランティアを募集、8名が交代で整理作業に。
- ・地域の重要な資料の発見もある。

→協会としての役割が少し果たせたような...



課題

そんなにうまくいって
るわけでもなく

* 参加メンバーの熱意によるため、活動が安定しない。世話人の負担。協会から交付される事業費の会計処理業務も少しある。

* 個人の活動か館の業務なのかの線引き。その判断は各館に任せてあるが、その理解が…

それぞれの事情がある。そんな簡単にはいかない。

* 「協会の部会活動に**何のメリットがあるのか**」という一部からの疑問の声

* 活動が「地域の活性化」につながっているのか

悩ましい…

今後

* 隣のまちなのに、実は知らない。まずはお互いに顔見知り、相談できる関係を作ること。

* ネットワークによって何かがはじまる、世界が広がることを大事にする。

* できるところから少しずつ。無理をしない。続けていくうちに理解がされていくのでは・・・

また、次のような場になっていけたら・・・

* 法改正に伴う、諸問題やこれからの博物館のあり方を加盟館で情報交換、共有し高めていく。

* 登録に関する情報も加盟館や協会として共有していく。

* 関係学会(展示学会、JMMA、全日本博物館学会など)との連携

今後

少し前向き
に…

- *「何のメリット？」…そんな疑問に対して
大きな館も小さな館も**共通する課題**は多い
⇒最終的には加盟館のために、
加盟館に属する人たちのために、
そして利用者や地域のために
と考えていきたい…

今後

協会で受ける**刺激**やそこで築かれた**信頼関係**、**ネットワーク**を、自館だけでは気づけなかった**活動のヒントを発見**するきっかけとし、それぞれの施設の活性化へと繋げていく。

ただ、「連携」「ネットワーク」という言葉や形をあまり気にすることなく、

結果的に「連携」になっていればいい のかな・・・
これが連携していたことになるんだ でのいのでは・・・

少し 気楽な気持ちで・・・

いい笑顔！

悩みもある
けど、楽しい
ことが一番

現場で働くメ
ンバーのモチ
ベーション



東濃ブロック会合/20180125/瑞浪市



あまり 堅
苦しく考え
ると嫌に
なる

何となく
面白くや
ればいい。

自由が
一番！

岐阜ブロック 地域資源学習会/20171211/金華山

参考文献

- ・可児光生「地域資源と展示の有り方」『展示学』54号、日本展示学会、2017年
- ・『岐阜県博物館協会創立50周年記念誌』岐阜県博物館協会、2016年



<http://www.gifu-museum.jp/>

岐阜県博物館協会事務局：岐阜県博物館内
（岐阜県関市小屋名1989）